

月刊
JMITU

オトコノカ



「中間管理職の悲鳴」

2月号

日本金属製造情報通信労働組合大田地域支部
セガ グループ分会 2020年発行

No.422

2020年 春闘・夏季一時金要求提出

すべての仲間の大幅賃上げ待遇改善を！

2月19日、私たちJMIT
Uセガグループ分会は、春闘・
夏季一時金要求を、SHD、S
IC、SLSの3社に提出しま
した。

要求項目は以下の通りです。

- ・本人給を2万円、評価給を3万円引き上げること。評価給テーブルの上限を3万円引き上げること。査定しないこと。
- ・アルバイト、パートタイマーの時給を一律200円引き上げること。最低1500円以上にすること。

・アルバイト、パートタイマー、派遣・請負社員を本人の希望があれば正社員にすること。

・アルバイト、パートタイマーに退職金制度を設けること。

・新人事制度を廃止し、導入前の賃金体系に戻すこと。

・昇格の基準を明確にし、社員が納得できる昇格制度にすること。

・人事制度において評価給がテーブルの上限に達した場合、昇格試験の機会を与えること。

・1日実働7時間、週5日制、35時間労働とすること。

・高齢者再雇用における有期契約社員の給与を、定年時の月額基準内賃金の80%で算定し支給すること。希望するものには70歳まで再雇用すること。

・リロポイントを年間5万円にすること。アルバイト、パートタイマーにもポイントを付与すること。

・業務外傷病有給休暇を、一般従業員にも現行10日から最高60日（休日除く）を与えること。診断書代の実費を会社負担とすること。

・社会保険料の負担割合を労使3対7にすること。

・事業所の移転・統廃合、会社分割・合併・営業譲渡など企業組織の変更、子会社の設立、海外への生産移転、工場・営業所の進出、新業種の進出・業種転換、資本の移動、企業間提携、廃業、企業倒産にかかわる私的・法的手続きの申立・実行、その他、重要な経営施策の変更については、労働組合と事前に協議し、同意を得たうえで実行すること。

・退職金を、勤続1年につき基準内賃金の2ヶ月分とすること。

・家族手当を妻3万円、子2万円とすること。アルバイト、パートタイマーにも家族手当を支給すること。

・弁当代補助を一カ月一万円支給すること。

・本人が結婚するときの結婚休暇は、連続2週間(休日含む)とし、子供が結婚するときは3日(休日を含まず)とする
こと。

・忌引休暇を、喪主7日、正父母・配偶者・子供の場合7日、祖父母・兄弟・姉妹・配偶者の父母の場合5日、伯(叔)父・伯(叔)母・配偶者の兄弟の場合2日にすること。

・SIMOS上に組合ホームページのリンクを貼り付けること。(SHD)

・2020年夏季一時金として、賞与資格別基準額を2万円底上げし、係数4・0を支給すること。ただし査定を行わないこと。及びパートタイム、アルバイト従業員にも、夏季一時金を支給すること。

大企業の内部留保を賃上げに！

大企業の内部留保はこの10年間(2008年〜2018年)で282.7兆円から449.1兆円へ166.4兆円も増え1.6倍に膨らんでいます。一方実質賃金は、下がり続け、国際比較をしても下がり続けているのは日本だけ、しかも安倍政権は、この22年間で実質賃金を最低にしました。

実質賃金が下がり続けている原因は、非正規労働者の増加です。この17年間で、正規労働者は3万人減り、非正規労働者は706万人も増え、非正規雇用率は過去最高の38.5%になっています。(2019年第3四半期比較)
実質賃金が減り労働者の生活は苦しくなるばかりなのに、日本の富裕層上位40人の金融資産は、日本の人口の半分

(下位層)の資産と同じになっています。

アベノミクスの成果

アベノミクスで一番増えたのが富裕層上位40人の金融資産、2番目は大企業の経常利益、3番目は自民党への企業・団体献金です。

自民党は献金をもらって大企業や富裕層の為の政治を行っています。スローガン「経済の好循環」は、大企業、富裕層、自民党だけの好循環で、国民にとっては、賃下げ、貧困、過労死の悪循環です。

消費税廃止法人税増税へ！

名目賃金が上がらない中で消費税を増税すると物価が上昇して実質賃金が下がり消費が冷え込み、景気は悪化します。消費税を10%に引き上げたことで19年10月の実質

消費支出はこの30年間で最低になりました。

企業の経常利益はこの10年間で3倍増、しかし法人税は、1.2兆円マイナスです。

この原因は、法人税の基本税率の引き下げと大企業優遇税制が強化され、法人税実質負担率が減少しています。

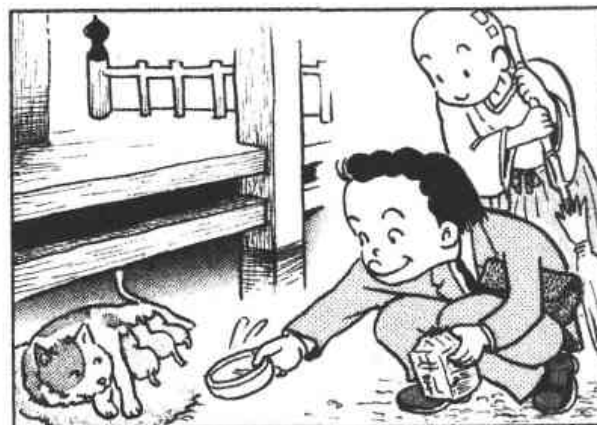
「同一労働同一賃金」非正規との格差なくせ！

不合理な待遇差別を禁止し、待遇差の合理性について説明する責任を会社に課すことになりました。しかし、法改正の不十分な点は、人材活用のあり方に違いがあれば待遇差があったとしても直ちに不合理とはいえないと会社に弁明する余地を残しています。
このような情勢ですが労働組合として、今春闘頑張ってくださいと思います。

4こま漫画

川崎よしき





ショートショート

バツキヤロ

仙洞田一彦

アルコールでやつつけるんだ。アルコールで消毒するんだ。

本気かどうか分からないが、そんなことを思いながら、彼は夕暮れの街を歩いていった。

アルコールとは無論、酒のこと。インフルエンザが猛威を振るっている、ウイルスなんてアルコールでやつつけるんだと思っていた。鼻風邪を引いたって、腰が痛くったって、アルコールで治すんだという。酒を飲まない人にとっては、呑兵衛のたんなるたわごとにしかな聞こえない。

いま彼が思っているのは新型コロナウイルスのこと

だ。

感染拡大の報道が繰り返されるにつれて、街行く人のマスク姿がぐんと増えた。彼はアルコールで消毒するから、マスクをしていない。感染しなくなれば、家に閉じこもっていいのかもしれないが、かえって体の調子がくるってしまいうさだ。

五十歳を目の前にして失職してしまった。じわじわ来る不況が、彼を真つ先に襲った。どうせ独り身で、養う家族もない。さいわい借金もないから、酒をすこし我慢して、貯めたわずかな貯金がある。この先半年持てばいいくらいだが、まったくないよりはいい。だから、今夕もほろ酔い機嫌で街を歩いていられる。

酒のみによっては、ある量

を超える態度が急変する。

それこそ、部屋の明かりのスイッチを入れたように一変する。パツと明るくなることもあれば、スイッチを切られたように、暗くなることもある。

明るくなる方は、突然雄弁になる。素面の時は、話し掛けても返事をしないくらいなのに、一定量を超えた途端にしゃべりだすのだ。人をほめる。気持悪くなるくらいおだてたりする。飲み屋を出るころには、この世は天国という気分だ。

暗くなる方は、どうなるか分からない、というのは危ないなと思った時は別れてしまいうからだ。愚痴。説教。普段は結構いい加減で、度量のある人のように見えていても、酒が超えると、ああいうこと

をやってはいけない、こうしてはいけないと厳格になる。

やたら厳格になり、度を超すと上司にはからむし、部下には説教を垂れる。暗くなるといっても本人が暗くなるわけではなく、まわりにいる人間が暗くなる。

酒を飲んでいない時にも、そういう人だったら、「付き合え」と言われても遠慮するが、飲んでいてコロッと変わるから始末に負えない。付き合いが長くなれば、どのくらいの酒量で豹変するか分かるので、変わる前にサヨナラをすればいい。

夜晩い駅のホームで、一方がしつこく「次に行こう」と誘い、手を引つ張られている連れの方が「帰る、帰る」と言っている光景を見ることが

ある。この光景のうちのいくつかは、「豹変」を恐れて「帰る」と言っているのだ。

彼の場合は少し変わっていた。酒を飲んでも、あまり明るくもならないし、暗くもならない。

今夕のように、雲が厚く垂れこめ、気温がぐつと下がり雪が舞いそうなとき、一人になって歩いていると、突然少女の姿が浮かんでくるのだ。

二十年くらい前のこと。出勤の途中で、ランドセルを背に、泣きながら歩いて来た少女とすれ違った。その朝は雪が降り始め、空は厚い雲ですっかり覆われていた。風もある。これから冷え込むことが予想される。

その少女は涙が流れる顔を覆うことなく歩いて来た。頬

は寒さで赤くなっている。

彼は様々な泣き顔を見てきたが、こんなに悲しそうな顔に出会ったのは初めてだった。寒くて学校に行きたくないのに、行けと言われて出てきたのだろうかと思ったが、その程度のことではなさそうだ。

自分の子供の頃を思い出してみても、その子の顔の悲しみを超えるようなことは思い浮かばなかった。

酔いが回ってきた今も、おぼろげながらその少女の顔が浮かんできた。彼は思わずダウンジャケットのファスナーを顎のところまで引き上げた。両手をポケットに突っ込み背中を丸めた。

「バッキヤロ、バッキヤロ」と、つぶやき始めた。彼の酒臭い口に、耳を近づけなけ

れば聞こえないくらいの声である。「バッキヤロ」というのは、「馬鹿野郎」のこと。少女

像が、彼を責めているのではないかと思われる。馬鹿野郎は、自分に言っている言葉だ。何時の頃からそうなったのか思い出せない。もし外に向けるのなら「バッキヤロ」と、

ときどき見かけた人もいるに違いない。街ですれ違ったときに「バカヤロウ」といきなりでかい声を出す男に。びっくりして振り返って見ると、

その男の周りには誰もいないし、自分に声を掛けたわけでもない。見ていると、何メートルかおきに声を上げておそらく、そいつの脳には明らかかな像が浮かんでいるに違いない。憎らしい奴の姿が。

だからそいつに向かつて言っている。しかし、力が違い過ぎて、現実にはとても刃向かうことができない。すれ違いう誰かに向けて言うわけにはいかない。その人が自分に向かつて来たらやばいから。

つまり、すごく気が弱いのではないかと想像する。だから、特定の相手に言うわけにはいかない。だが外に向けなければならぬ。だから路上で、「バカヤロウ」とでかい声を出す。

彼が呟くのは、外に言うのではなく、自分に言うのだからだろう。他人に聞こえる必要はない。さらに、冷え込んで来た。「バッキヤロ、バッキヤロ」と、かすかに彼の唇が動いている。なにを、責められているのだろうか。

20春闘

私たち労働組合は、「8時間働けば人間らしくくらしらせる賃金」を要求しています。

いま職場では「成果主義」による賃金が広がっています。「頑張ればそれなりの報酬」という制度ですが、何をどのように頑張ったかの判断は、上司の個人的な評価で決まることが多いです。

企業が欲しい労働者は、長時間労働に耐え、賃上げ要求もせず、労働条件には不満を言わないで働く人です。しかし、それでは

「人間らしいくらし」とは呼べません。

日本では社会保障が貧弱なため、労働者とその家族の医療・教育・住居・福祉関係な

ど、賃金に依存しなければ生活できません。

私たちは年齢をかさねるに従って、結婚、出産、教育、住居、医療、介護、老後などの支出が増えていきます。年功型賃金は、社会保障を補う上で不可欠な制度なのです。ヨーロッパのように、医療や教育の費用が要らない社会に変わらない限り、成果主義賃金では人間らしいくらしは実現できません。

さらに、競争をあおる「成果主義賃金」は、労働者間の経験や技術の蓄積、連帯を壊すものになっています。

私たち労働組合は、残業しなくても、人間らしく、当たり前のくらしができる賃金の実現に向けて要求を続けていきます。

下記ホームページにて

2020年春闘アンケートを行っています！
匿名で簡単なアンケートです。ぜひお答え下さい！

<http://jmitusega.chips.jp/>



労働相談、ご意見、ご質問は、下記にお寄せください。

JMITU 本部 TEL 03-5961-5601 : FAX 03-5961-5603

ホームページ <http://www.jmiu.com/>

JMITU 大田地域支部 TEL 03-3734-3502 : FAX 03-3734-3534

ホームページ <http://www6.plala.or.jp/JMIUOTA/>

セガグループ分会ホームページ <http://jmitusega.chips.jp/>